

第5期 オンライン開催

防災教育コーディネーター養成塾

受講ガイド



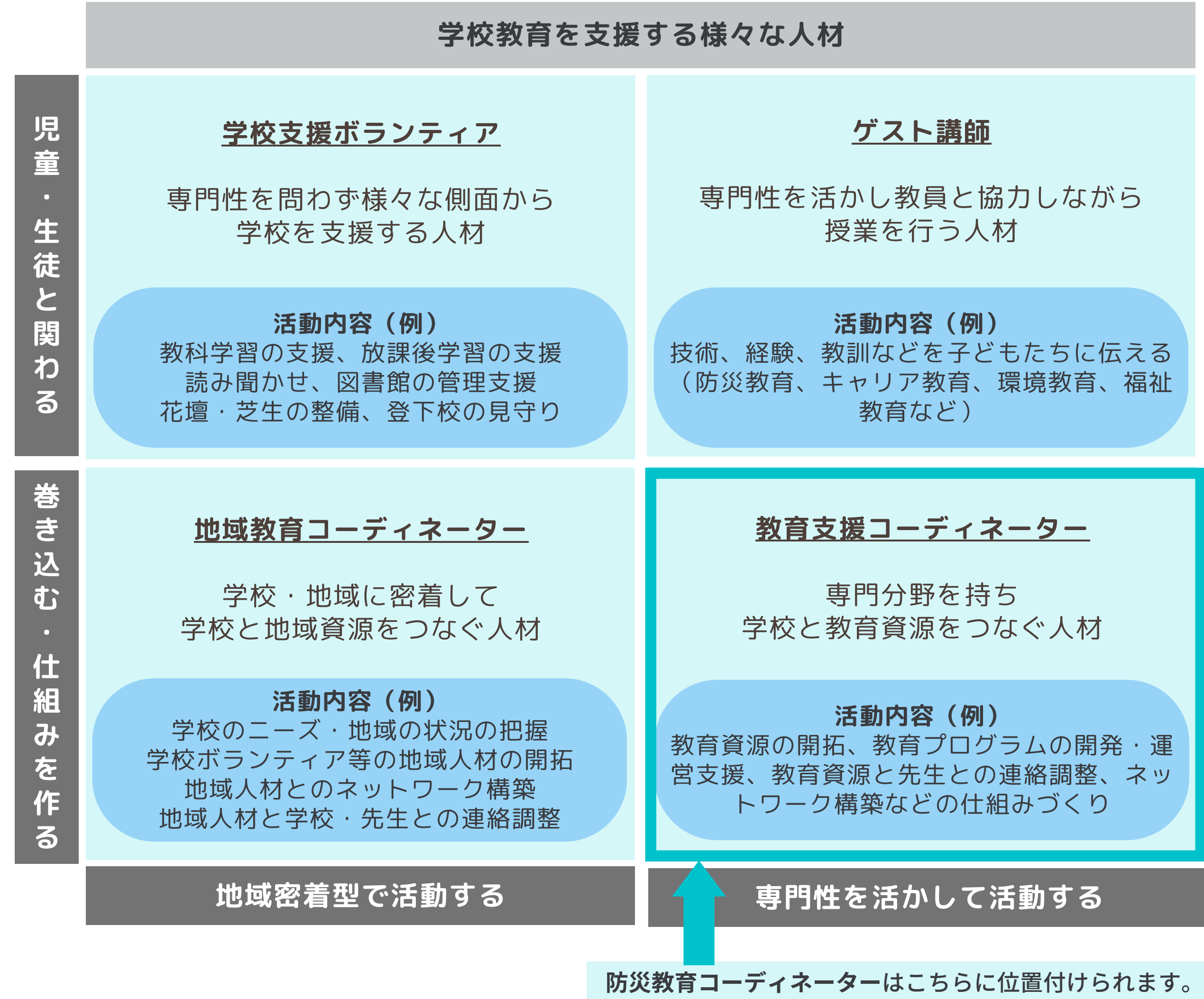
※受講前に必ず目を通してください

主催：公益社団法人中越防災安全推進機構 地域防災力センター

作成：防災教育コーディネーター養成塾事務局

■防災教育コーディネーターとは？

学校教育を支援するためには、様々な関わり方があります。どんな関わり方があるのかを、大きく4つに分類すると以下の図のようになります。



■当講座のねらい

日本は災害大国であり、昨今ますます学校現場での防災教育の実施が求められています。しかし学校現場では、既存教科や行事の他にも様々な課題があり、日々教職員は多忙を極めている上、教職員からも、どのように防災教育を実践したらよいかわからない、という声を多く聞きます。防災教育は学校内だけで実践するのではなく、地域や外部資源との連携が肝要で、地域人材をはじめ、専門的知識やスキルを持った様々な人材と協力して、防災教育について考えていく必要があります。そのため防災教育を支援する人材として、防災に関する知識だけでなく、学校教育についての知識も持った上で、様々な人たちと信頼関係を築ける人材が求められています。

そこで、この講座では、学校での防災教育を支援する担い手・つなぎ手として活躍する人材を養成するべく、防災教育コーディネーターという役割・立場を一つの切り口として、防災についての知識のみならず、学校教育についての知識も身につけ、学校教職員、外部支援者相互の立場を理解・共感し、信頼関係を築きながら防災教育の支援ができる人材を一人でも多く輩出することを目指しています。

■各コースの到達目標と進め方

当講座は、以下の3つのコースに分かれています。



A

スタートアップコース

到達目標：防災教育の必要性や意義を理解する。

講義4回を受講することができます。各講義終了後、各自のメールにふりかえりシートを送りますので、感想等を記入し送信してください。

B

ベーシックコース

到達目標：防災教育における地域資源と子どもたちとの教育的接点や価値を見出すことができる。

講義4回とワークショップ5回を受講することができます。ワークショップで他の受講生と交流を図ることで、より充実した学びにつながります。各講座終了後、各自のメールにふりかえりシートを送りますので、感想等を記入し送信してください。

C

アドバンストコース

到達目標：子どもたちの発達や学習状況に応じた学習プログラムの作成と提案ができる。また、関係者と信頼関係を築くことができる。

事前課題3回、講義4回、ワークショップ5回、事後課題3回を受講することができます。事前課題→講義→ワークショップ→事後課題のステップで進めることで、知識の習得と活用の繰り返しを図り、知識の定着を図ります。また、他の2つのコース同様、各講座終了後、各自のメールにふりかえりシートを送りますので、感想等を記入し送信してください。

■集合研修について

(対象：講義→全受講生 ワークショップ→ベーシック・アドバンストコース受講生)

集合研修は、以下の日程ですべてオンライン（WEB会議サービス「Zoom」を使用）で行います。

※Zoomの使い方に不安がある場合は、下記ページをご参照ください。
【Zoom会議に参加する際によくある質問まとめ（NECネットアイ）】
https://symphonict.nesic.co.jp/workingstyle/zoom/join_in/

回	月日	時間	講座内容
1	7/19 (土)	10:00-11:40	講義 1 「防災教育における地域資源と教育効果」 東北学院大学地域総合学部 定池 祐季 氏
		13:00-14:30	ワークショップ 1 「自己紹介ワークショップ」 アドバイザー：埼玉県立川島ひばりが丘特別支援学校 齋藤 朝子 氏
2	7/20 (日)	10:00-11:40	講義 2 「防災教育の必要性と意義」 群馬大学大学院理工学府 物質・環境部門 金井 昌信 氏
		13:00-15:00	ワークショップ 2 「防災教育における地域資源と教育効果について考えてみよう」 アドバイザー：埼玉県立川島ひばりが丘特別支援学校 齋藤 朝子 氏
3	8/17 (日)	10:00-11:40	講義 3 「地域学校連携における防災教育実践のコツ～プログラム開発手法の基礎知識～」 一般社団法人防災教育普及協会 宮崎 賢哉 氏
		11:40-16:30 (ランチ休憩含む)	ワークショップ 3 「防災教育プログラムをつくってみよう」 アドバイザー：埼玉県立川島ひばりが丘特別支援学校 齋藤 朝子 氏
4	9/13 (土)	10:00-11:40	講義 4 「社会に開かれた教育課程における地域と学校の役割」 防災教育学会 諏訪 清二 氏
		13:00-16:00	ワークショップ 4 「教職員の仕事と被災者心理を理解しよう」 「現役コーディネーターの体験談を聞こう」 「ロールプレイングー学校ニーズを把握しよう」 アドバイザー：埼玉県立川島ひばりが丘特別支援学校 齋藤 朝子 氏
5	9/14 (日)	9:00-12:00	ワークショップ 5 「防災ファシリテーションを学ぼう」 日本ファシリテーション協会 鈴木 まり子 氏

【注意事項】

- ・当日使用するZoomのURLは前日にメールでご連絡いたします。
- ・受講生の入室は、各講義開始10分前から可能です。
- ・Zoomへのご入室は1台の端末でお願いいたします。
- ・ワークショップ参加者は、グループワークがありますので、なるべくPCからのご接続をお願いいたします。
- ・講義はアーカイブ視聴が可能ですが、ワークショップは参加型のためアーカイブ視聴はできません。
- ・講座の当日参加が不可の場合は、あらかじめ事務局へご連絡ください（bosaipiusquest@gmail.com 事務局：関谷央子）

■事前課題について（対象：アドバンストコース受講生）

講義の前に事前課題に取り組みます。事前課題は各講義が始まる前までにご提出ください。
※得点率が7割未満の場合は、再提出となります。

★事前課題テキスト

文部科学省「学校防災のための参考資料『生きる力』を育む防災教育の展開」
<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/mextshiryou/data/saigai03.pdf>
（↑こちらから、下記の該当ページを参考にご覧ください。）

課題No	テキストの学習範囲	提出期限
1	● 第1章 「学校防災の意義とねらい」 ● 第2章 「学校における防災教育」 1－2 【該当ページ：p1-10】	第1回 集合研修前日 7月18日（金） 18:00 まで
2	● 第2章 「学校における防災教育」 4－6 【該当ページ：p11-26】	第3回 集合研修前日 8月16日（土） 18:00まで
3	● 第3章 「学校における防災管理」 ● 第4章 「災害安全に関する組織活動」 【該当ページ：p27-48】	第4回 集合研修前日 9月12日（金） 18:00まで

■事後課題について（対象：アドバンストコース受講生）

各回の集合研修後に、Emailにて事後課題をお送りしますので、期限までにご提出ください。
評価はA・B・Cの三段階に分かれていますが、Cの場合は再提出となります。

課題No	提出課題のテーマ	提出期限
1	「防災教育プログラムの事例分析」 防災教育プログラムを一つ取り上げ、様々な視点から事例分析を行なう	第3回 集合研修前日 8月16日（金） 18:00まで
2	「防災教育プログラムの開発」 防災教育プログラムを考え、提案書（設計書）を作る	第4回 集合研修前日 9月12日（金） 18:00まで
3	「小論文」 自分はどのように防災教育に関わりたいかについて、小論文形式で論じる	9月30日（火） 18:00まで

・すべての事前課題及び事後課題は、10月下旬頃に採点してご返却いたします。

7/19
(土)

防災教育における地域資源と教育効果

事前課題 学校防災の意義とねらい

講義 1 10:00-11:40 防災教育における地域資源と教育効果

東北学院大学 地域総合学部 政策デザイン学科
准教授 定池 祐季 氏

ワーク
ショップ 1 13:00-14:00 自己紹介ワークショップ

アドバイザー
埼玉県立川島ひばりが丘特別支援学校
教諭 齋藤 朝子 氏

7/20
(日)

学校と地域が連携した防災教育の必要性

講義 2 10:00-11:40 防災教育の必要性と意義

群馬大学大学院 理工学府 教授 金井 昌信 氏

ワーク
ショップ 2 13:00-15:00 防災教育における地域資源と
教育支援について考えてみよう

アドバイザー
埼玉県立川島ひばりが丘特別支援学校
教諭 齋藤 朝子 氏

事後課題 防災教育プログラムの事例分析

8/17
(日)

防災教育プログラム実践と開発手法

事前課題 学校における防災教育

講義 3 10:00-11:40 地域学校連携における防災教育実践のコツ
～プログラム開発手法の基礎知識～

一般社団法人防災教育普及協会
防災教育事業部長・社会福祉士 宮崎 賢哉 氏

ワーク
ショップ 3 11:40-16:30
(ランチ休憩含む) 防災教育プログラムをつくってみよう

アドバイザー
埼玉県立川島ひばりが丘特別支援学校
教諭 齋藤 朝子 氏

事後課題 防災教育プログラムの開発

9/13
(土)

学校文化と社会に開かれた教育課程

事前課題 学校における防災管理と組織活動

講義 4 10:00-11:40 「社会に開かれた教育課程」
における地域と学校の役割

防災教育学会 会長 諏訪 清二 氏

ワーク
ショップ 4 13:00-16:00 ・教職員の仕事と被災者心理を理解しよう
・現役コーディネーターの体験談を聞こう
・ロールプレイングー学校ニーズを把握しよう

アドバイザー
埼玉県立川島ひばりが丘特別支援学校
教諭 齋藤 朝子 氏

9/14
(日)

学校地域協働における相互理解

ワーク
ショップ 5 9:00-12:00 防災ファシリテーションを学ぼう

日本ファシリテーション協会
フェロー 鈴木 まり子 氏

事後課題 小論文：自分はどのように防災教育に関わりたいか

■修了要件について（対象：全コース受講生）

以下の全ての要件を満たす方に、受講コース名の入った「防災教育コーディネーター養成塾 修了証」（PDF）を差し上げます（修了証発行は2025年10月下旬の予定です）。

A スタートアップコース
申込書を記入提出済で、すべての講義を受講し（後日の動画視聴でも可）、講義後にEmailで送られてくる「ふりかえりシート」を記入し、提出していること。

B ベーシックコース
申込書を記入提出済で、すべての講義を受講し（後日の動画視聴でも可）、ワークショップへの出席が3回以上あり、講座後にEmailで送られてくる「ふりかえりシート」を記入し、提出していること（欠席したワークショップの分も資料を見ながらふりかえりシートにご記入ください）。

C アドバンストコース
申込書を記入提出済で、すべての講義を受講し（後日の動画視聴でも可）、ワークショップへの出席が3回以上あり、講義後にEmailで送られてくる「ふりかえりシート」を記入し、提出していること（欠席したワークショップの分も資料を見ながらふりかえりシートにご記入ください）。すべての事前事後課題を提出しており、得点率7割以上、評価B以上であること。